

整備方針

現段階においては、原則として、学校ごとに校地内に仮設校舎を建設し、児童・生徒は仮設校舎で授業を受けることを想定しています。

(計画本編P126 改築工事を実施する際の配慮事項について)

仮設校舎建設のメリット

- ・同じ配置で改築できる。
- ・周辺環境の変化が少ない。

仮設校舎建設のデメリット

- ・多額の費用がかかる。
- ・引越を2回行うなど、学校に負担がかかる。

| | 八小 | 一中 | 三小 | 六小 |
|--------------------------|---------|---------|----|---------|
| 仮設校舎借上の契約金額 (全期間の総額) | 約5億5千万円 | 約6億6千万円 | なし | 約9億1千万円 |
| 利用期間 (設計・築造・解体の期間を除く) | 1年8か月 | 1年8か月 | なし | 2年 |

加えて、次の別途費用が発生

電話回線工事、インターネット回線、ICT機器及びネットワーク工事、移転に伴う不燃ごみ・粗大ごみ処理、仮設通路整備 等

今後の仮設校舎建設の方向性について

整備方針

現段階においては、原則として、学校ごとに校地内に仮設校舎を建設し、児童・生徒は仮設校舎で授業を受けることを想定しています。

整備方針 修正案

仮設校舎については、現在の建物配置を変更せずに済むものの、改築事業費に与える影響が大きいことから、各校の改築時には仮設校舎を建設しない配置計画を検討します。

その検討に当たっては、建物のまとまりや校庭の大きさなどの教育環境面のほか、各校の建築における制約条件などの視点も踏まえ、改築後にも良好な環境を確保できる計画とします。

【視点の例】

- ▶ 改築完了後に、まとまった整形の校庭ができるか。
- ▶ 校舎と体育館のまとまりが良いなど、無理のない配置ができるか。
- ▶ 体育館やプール、学童が使えない時期が無いよう、建替え順序を計画できるか。
- ▶ 都市計画との整合性がとれるか。

改築校の建物配置計画決定までの流れ

整備方針

現段階においては、原則として、学校ごとに校地内に仮設校舎を建設し、児童・生徒は仮設校舎で授業を受けることを想定しています。

各学校改築に伴う 基本構想

配置計画の考え方を整理のうえ、建物配置を複数案検討。

設計者の選定 (プロポーザル方式)

基本計画及び基本・実施設計業務委託事業者を募集。
建物配置を含めた課題を設定し、設計の提案を受ける。

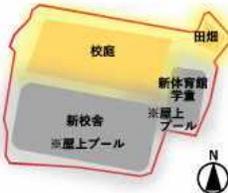
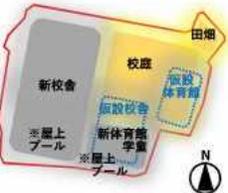
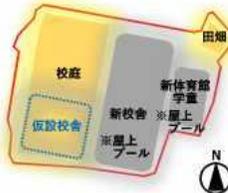
- ▶ 基本構想で検討した配置案と比較しながら、提案の企画力、実現性等の審査項目を総合的に評価、最も評価が高い設計者を選定。

基本計画

配置計画を基本計画の中に盛り込み決定。

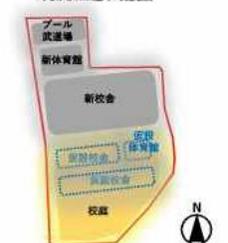
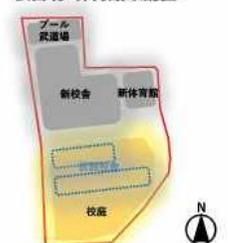
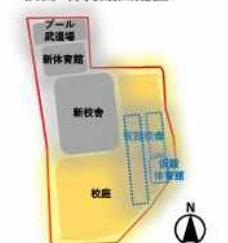
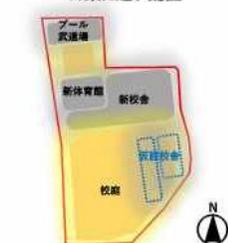
配置計画に関する設計者からの提案内容（府中市立府中第八小学校）

| | | | |
|-------------------------|---|------------------------------|---|
| <p>■府中第八小学校配置計画の考え方</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・改築に当たり、校舎・体育館・学童クラブが使えない時期のない建替手順とする。 ・敷地内にある学童クラブも建て替える。 ・周辺に配慮した計画とする。 ・田畑を配置する計画とする。 | <p>■設計者がプロポーザル案で大切に考えたこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく、雨や雪の影響を受けにくい校庭とすること。 ・体育館・学童クラブ・プールを一体的に整備することにより、校庭を広く確保すること。 ・学校の独自性・思い出をつなげるため、地域性を継承すること。 ・地域開放ゾーンが独立して、利用しやすくまとまること。 ・工事期間中の在校生への騒音などの影響を少なくすること。 ・工事期間中も一部校庭が使える計画とすること。 ・プールの位置が、教室の配置等の自由度を制約しないこと。 ・建物の配棟を大きく変えず、近隣への急激な環境の変化を少なくすること。 |
|-------------------------|---|------------------------------|---|

| 建物配置の現状 (建物施設を北側に集約) | | A案 | B案 | C案 | D案 | プロポーザル案 |
|---|-----------|--|--|---|---|---|
|  | | <p>校舎北配置</p>  | <p>校舎南配置</p>  | <p>校舎西・体育館南配置</p>  | <p>校舎東配置</p>  | <p>A案に近い配置</p>  |
| 建替手順 | | <p>工事期間が長い</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プールの解体 ②新体育館の建設 ③既存体育館の解体 ④仮設校舎の建設 ⑤既存校舎の解体 ⑥新校舎の建設 ⑦仮設校舎の解体 | <p>仮設校舎が不要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プールの解体 ②新体育館の建設 ③既存体育館の解体 ④新校舎の建設 | <p>建替手順が複雑</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プールの解体 ②仮設体育館の建設 ③既存体育館の解体 ④仮設校舎の建設 ⑤既存校舎の一部解体 ⑥新校舎の建設 ⑦仮設校舎と既存校舎の解体 ⑧新体育館の建設 ⑨仮設体育館の解体 | <p>工事期間が長い</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プールの解体 ②新体育館の建設 ③既存体育館の解体 ④仮設校舎の建設 ⑤既存校舎の一部解体 ⑥新校舎の建設 ⑦仮設校舎と既存校舎の解体 | <p>新校舎と新体育館を同時に建設</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プールの解体、仮設校舎の建設 ②既存校舎の解体 ③新校舎、新体育館の建設 ④仮設校舎、既存体育館の解体 |
| 平面計画 | ゾーニング | 校舎と体育館のまとまりがよい 校庭と体育館の体育ゾーンとしてのまとまりもよい | 校舎と体育館のまとまりがよい 校庭と体育館の体育ゾーンとしてのまとまりもよい | 校舎と体育館のまとまりがよい 校庭と体育館の体育ゾーンとしてのまとまりもよい | 校舎と体育館のまとまりがよい 校庭と体育館の体育ゾーンが分離している。 | 校舎と体育館のまとまりがよい 校庭と体育館の体育ゾーンとしてのまとまりもよい |
| 校庭 | 校庭の配置・向き | 校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い | 校舎の北側に校庭があり、冬に日陰ができる | 体育館の北側に校庭があり、冬に日陰ができる 校舎の東側に校庭があり、午後に日陰ができる | 校舎の西側に校庭があり、午前日に陰ができる | 校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い |
| | トラックの確保 | 150mトラックを入れると余地がありません | 150mトラックが入る | 150mトラックを入れると余地がありません | 150mトラックが入る | 150mトラックが入る |
| の周辺係と | 近隣への日陰の影響 | 敷地北側の住宅に日陰が生じる | 敷地北側の住宅へ日陰の影響はない | 敷地北側の住宅に日陰が多少生じる | 敷地北側の住宅に日陰が多少生じる | 敷地北側の住宅に日陰が生じる |

配置計画に関する設計者からの提案内容（府中市立府中第一中学校）

| | | | |
|-------------------------------|--|-------------------------------|--|
| <p>■ 府中第一中学校 配置計画の考え方</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・改築に当たり校舎や体育館が使えない時期のない建替計画とする。 ・武道場及びプールは既存利用とする。 ・工事期間中も一部校庭が使える計画とする。 ・現在ある部活動が行える計画とする。 ・近隣に配慮した計画とする。 | <p>■ 設計者がプロポーザル案で大切に考えたこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく、雨や雪の影響を受けにくい校庭とすること。 ・建物の積層化により、校庭を広く確保すること。 ・学校の独自性・思い出をつなげるため、地域性を継承すること。 ・地域開放ゾーンが独立して、利用しやすくとすること。 ・工事期間中の在校生への騒音などの影響を少なくすること。 ・工事期間中も一部校庭が使える計画とすること。 ・建物の配棟を大きく変えず、近隣への急激な環境の変化を少なくすること。 |
|-------------------------------|--|-------------------------------|--|

| 建物配置の現状 | | A案 | B案 | C案 | プロポーザル案 |
|---|-----------|---|--|---|---|
| <p>建物施設を北側に集約</p>  | | <p>現況に近い配置</p>  | <p>校舎北・体育館東配置</p>  | <p>校舎・体育館西配置</p>  | <p>プロポーザル案 A案に近い配置</p>  |
| 建替手順 | | <p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎と仮設体育館の建設 ②既存校舎と既存体育館の解体 ③新校舎と新体育館の建設 ④仮設校舎と仮設体育館の解体 | <p>仮設体育館が不要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎の建設 ②既存校舎の解体 ③新体育館の建設 ④既存体育館の解体 ⑤新校舎の建設 ⑥仮設校舎の解体 | <p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎と仮設体育館の建設 ②既存校舎と既存体育館の解体 ③新校舎と新体育館の建設 ④仮設校舎と仮設体育館の解体 | <p>仮設体育館の不要な計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎の建設 ②既存校舎の解体 ③新校舎と新体育館の建設 ④仮設校舎と既存体育館の解体 |
| 平面計画 | ゾーニング | 校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンとしてのまとまりもよい | 校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンが分離している | 校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンとしてのまとまりもよい | 校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンとしてのまとまりもよい |
| | 校庭 | 校庭の配置・向き | 校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い | 校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い | 校舎の東及び南側に校庭があり、日当たりが良い 校舎の東側の部分は午後には日陰ができる |
| 校庭の形状 | | まとまった正形な形となる | まとまった正形な形となる | まとまった大きさではあるが、分割配置となる | まとまった正形な形となる 200mトラックが入る |
| の周 関 辺 係 と | 近隣への日陰の影響 | 敷地北東の住宅に日陰が生じる | 敷地北東の住宅に日陰が生じる | 敷地北東の住宅に多少日陰が生じる | 敷地北東の住宅に日陰が生じる |

配置計画に関する設計者からの提案内容（府中市立府中第三小学校）

| | |
|---|--|
| <p>■府中市立府中第三小学校配置計画の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改築に当たり、校舎・体育館・学童クラブの機能を維持しつつ建て替えができる手順とする。 ・敷地内にある学童クラブも建て替える。 ・周辺に配慮した計画とする。 ・都市計画道路内に新築建物を配置しない計画とする。 ・既存緑地は極力残す計画とする。 ・道路中心線から4.5mセットバック距離を確保した計画とする。 | <p>■設計者がプロポーザル案で大切に考えたこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館・学童クラブ・プールを一体的に整備することにより、校庭を広く確保すること。 ・都市計画道路の予定地を有効活用すること。 ・学校の独自性、思い出をつなげるため、桜の木の保全など、地域性を継承すること。 ・学校と地域が連携しやすい校舎配置と、学校と地域をつなぐ広場を創出すること。 ・状況に応じて段階的な開放が可能な利用しやすい地域開放ゾーンを形成すること。 ・工事期間中の在校生への安全を最優先とし、騒音などの影響を少なくすること。 ・工期短縮を図る建替手順とし、工事期間中も一部校庭が使える計画とすること。 |
|---|--|

| 建物配置の現状 (建物施設を北側に集約) | | A案 | B案 | C案 | D案 | プロポーザル案 |
|-------------------------|-----------|---|--|---|---|--|
| | | | | | | |
| 建替手順 | | 無理のない計画 ①仮設校舎建設 ②既存校舎解体 ③新校舎・体育館 ④既存体育館・プール解体 ⑤プール建設 | 無理のない計画 A案より工事期間が長い。 ①仮設校舎建設 ②既存校舎解体 ③新体育館・プール建設 ④既存体育館・プール解体 ⑤新校舎建設 | 仮設校舎不要 ①新校舎建設、既存プール解体、新プール建設 ②既存校舎解体 ③新体育館建設 ④既存体育館解体 | 仮設校舎不要 ①新校舎建設、既存プール解体、新プール建設 ②既存校舎解体 ③新体育館建設 ④既存体育館解体 | 新校舎と新体育館を同時に建設、仮設校舎不要 ①既存プール解体 ②新校舎・新体育館・新プール建設 ③既存校舎・既存体育館解体 |
| 平面計画 | ゾーニング | 校舎と体育館のまとまりが良い。体育館、プールが分離しており、体育ゾーンとしてのまとまりはあまり良くない。 | 校舎と体育館のまとまりが良い。校庭、体育館、プールの体育ゾーンとしてのまとまりも良い。 | 校舎と体育館のまとまりが良い。体育館、プールが分離しており、体育ゾーンとしてのまとまりはあまり良くない。 | 校舎と体育館のまとまりが良い。体育館、プールが分離しており、体育ゾーンとしてのまとまりはあまり良くない。 | 校舎と体育館のまとまりが良い。校庭、体育館、プールの体育ゾーンとしてのまとまりも良い。 |
| | 校庭の配置・向き | 西に体育館があり、夕方は日陰ができる。校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い。現状と同程度の面積が確保できる。 | 西に体育館があり、夕方は日陰ができる。現状と同程度の面積が確保できるが、不整形である。 | 校舎の北側に校庭があり、日陰で乾きにくい。南に校舎、西に体育館があり、午後は長い時間日陰ができる。北側を有効活用することで、まとまった整形の校庭ができる。 | 校庭の南側に一部校舎があり、日陰で乾きにくいところがある。南に校舎、西に体育館があり、午後は長い時間日陰ができる。北側を有効活用することで、校庭を広く使用できる。 | 校舎の北側に校庭があり、冬に日陰ができる。北側を有効活用することで、まとまった整形の校庭ができる。 |
| トラックの確保 | | 150mトラックが確保でき、なお余裕がある。 | 150mトラックが確保できる。 | 150mトラックが確保でき、なお余裕がある。 | 150mトラックが確保でき、なお余裕がある。 | 150mトラックが確保でき、なお余裕がある。 |
| 周辺との関係 | 近隣への日陰の影響 | 敷地西側の住宅に日陰が生じる。敷地東側の住宅は、現状より日陰の影響が軽減される。 | 敷地西側の住宅に日陰が生じる。敷地東側の住宅は、現状より日陰の影響が軽減される。 | 敷地西側の住宅に日陰が生じる。敷地東側の住宅は、現状より日陰の影響が軽減される。 | 敷地西側の住宅に日陰が生じる。敷地東側の住宅は、現状より日陰の影響が軽減される。 | 敷地南東側、南西側の一部住宅に日陰が生じる。敷地北東側（既存体育館部分）の住宅は現状より日陰の影響が軽減される。 |

配置計画に関する設計者からの提案内容（府中市立府中第六小学校）

| | | | |
|-----------------------------|--|-------------------------------|---|
| <p>■府中市立府中第六小学校配置計画の考え方</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・改築に当たり、校舎・体育館・学童クラブの機能を維持しつつ建て替える手順とする。 ・敷地外にある学童クラブを敷地内に再整備する。 ・周辺に配慮した計画とする。 ・既存緑地は極力残す計画とする。 ・道路中心線から4.5mセットバック距離を確保した計画とする。 | <p>■設計者がプロポーザル案で大切に考えたこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体育館・学童クラブ・プールを一体的に整備することにより、校庭を広く確保すること。 ・明るく、雨や雪の影響を受けにくい校庭とすること。 ・学校の独自性・思い出をつなげるため、校舎前の並木道やタイヤの遊具など、子供たちに親しまれてきたものを継承すること。 ・学校と地域が連携しやすい校舎配置と、学校と地域をつなぐ広場を創出すること。 ・状況に応じて段階的な開放が可能な利用しやすい地域開放ゾーンを形成すること。 ・工事期間中の在校生への安全を最優先とし、騒音などの影響を少なくすること。 ・工期短縮を図る建替手順とし、工事期間中も一部校庭が使える計画とすること。 ・建物の配棟を大きく変えず、近隣への急激な環境の変化を少なくすること。 |
|-----------------------------|--|-------------------------------|---|

| <p>建物配置の現状</p> <p>(建物施設を北側に集約)</p>  | | <p>A案</p> <p>校舎北配置</p>  | <p>B案</p> <p>校舎北配置</p>  | <p>C案</p> <p>校舎東配置</p>  | <p>D案</p> <p>校舎南配置</p>  | <p>プロポーザル案</p> <p>B案に近い配置</p>  |
|--|---|---|--|--|---|---|
| <p>建替手順</p> | <p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎建設 ②既存校舎解体 ③新校舎・体育館・プール建設 ④既存体育館・プール解体 | <p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎建設 ②既存校舎解体 ③新校舎・体育館・プール建設 ④既存体育館・プール解体 | <p>仮設校舎不要</p> <p>工事期間が短い</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プール解体 ②新校舎・体育館・プール建設 ③既存校舎・体育館解体 | <p>仮設校舎不要</p> <p>工事期間が短い</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存プール解体 ②新校舎・体育館・プール建設 ③既存校舎・体育館解体 | <p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仮設校舎建設 ②既存校舎解体 ③新校舎・新体育館・新プール建設 ④既存体育館・既存プール解体 | |
| <p>平面計画</p> <p>ゾーニング</p> | <p>校舎と体育館のまとまりが良い。体育館、プールが分離しており、体育ゾーンとしてのまとまりはあまり良くない。</p> | <p>校舎と体育館のまとまりが良い。校庭、体育館、プールの体育ゾーンとしてのまとまりも良い。</p> | <p>校舎と体育館が分離している。校庭、体育館、プールの体育ゾーンとしてのまとまりは良い。</p> | <p>校舎と体育館のまとまりが良い。校庭、体育館、プールが分離しており、体育ゾーンとしてのまとまりはあまり良くない。</p> | <p>校舎と体育館のまとまりが良い。校庭、体育館、プールの体育ゾーンとしてのまとまりも良い。</p> | |
| <p>校庭</p> <p>校庭の形・向き 大きさ</p> <p>トラックの確保</p> | <p>校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い。現状と同程度の面積が確保できる。</p> <p>150mトラックが確保でき、なお余裕がある。</p> | <p>校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い。現状より広く面積が確保できるが、南側の地盤の高さを下げる必要がある。まとまった整形の校庭となる。</p> <p>150mトラックが確保でき、なお余裕がある。</p> | <p>東に校舎、南に体育館があり、日陰でグラウンドが乾きにくい。午前中から午後にかけて日陰の時間ができる。不整形である。</p> <p>150mトラックが確保できる。</p> | <p>南に校舎があり、日陰でグラウンドが乾きにくい。午後は日陰となる。面積は現状よりやや狭くなる。まとまった整形の校庭となる。</p> <p>150mトラックが確保でき、なお余裕がある。</p> | <p>校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い。現状より広く面積が確保できるが、南側の地盤の高さを下げる必要がある。まとまった整形の校庭となる。</p> <p>150mトラックが確保でき、なお余裕がある。</p> | |
| <p>周辺との関係</p> <p>近隣への日陰の影響</p> | <p>敷地西側の墓地は、現状より日陰の影響が軽減される。</p> | <p>敷地西側の墓地は、現状より日陰の影響が軽減される。</p> | <p>敷地東側の住宅に日陰の影響が出る。敷地西側の墓地は、現状より日陰の影響が軽減される。</p> | <p>敷地西側の墓地は、現状より南側に日陰の影響が出る。</p> | <p>敷地西側の墓地は、現状より日陰の影響が軽減される。</p> | |

仮設校舎を建設しない配置とした場合の配慮事項案

教育環境への配慮

- ・校舎が線路に接近した場合 → 二重サッシ等の防音対策
- ・南側に校舎を配置し、校庭が影になる場合
→ 一部に全天候型舗装(ゴムチップ舗装)
- ・工事期間中も一部校庭が使用できる計画とする。
- ・工事期間中も体育館を使用できる配置及び工事手順とする。
- ・プールを設置する場合、プールを使えない年がないように建物配置及び工程を検討する。

近隣への配慮

- ・校舎が住宅地に接近する場合
→ 階数(高さ)を抑制する・屋根形状の工夫